

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達サポートWalはーと		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 24日		～ 令和7年 4月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数) 3名	
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 8日		～ 令和7年 5月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数) 5名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ2名対応で1時間の個別療育を行うため、その場で保護者の相談が受けやすい。フィードバックや情報共有できる。 ・保護者が療育の見学、遊びに参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの意図、目的を共有する。 ・変化を伝えたり、自宅や保育園でのお話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の療育への意識を高めるためのアプローチを強化する(意図をわかってもらう、遊びに参加してもらう)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育で子どもそれぞれに合った遊びや活動の提供ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の興味関心のある遊びから、発展させる。 ・臨機応変に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者の遊びの幅を広げる。 ・道具操作にも促していける遊びを増やす。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の療育担当同士での共有や相談で終わり、全スタッフでの支援内容のディスカッションが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関わるスタッフが限られているため、それ以外のスタッフとの共有が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に個別療育のミーティングを持つ。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのスタッフが意識して関われるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担により関わる頻度に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に個別療育のミーティングを持つ。 ・定期的に療育に入れる時間を作る。
3			